

質問に入った。第一陣尾田議員(自)は土木、教育、水道、産業など経済的質問で終始与党にふさわしい協力的な態度であったのに、反し境議員(革)は過去七年半にわたって安達市政を推進した与党的



に答弁つぎのとおり。尾田(自)予算に占める土木費の割合が少ないが増加するつもりはないが、朝日川のかんがい用水を飲料水に使用しているむきかなりあるというが水道施設を整備するつもりはないか。張碓のチャシなどについて文化

自動車五十台が参加

○…食品衛生宣伝パレード
食品衛生法公布十周年と市食品衛生協会発足十周年を記念して、市食品衛生協会(会長神田文五郎氏)では食品衛生宣伝のパレードを四日午後一時から行った。色美しく飾りつけられた協会の自動車約五十台が花火を合図に花園公園グラウンドを出発、中央部だけでなく奥沢、手宮方面までパレード、食品衛生思想を宣伝して歩いたが、中心街ではビルの上から花吹雪も舞いなかなか壮観だった。

食品衛生宣伝のパレード

しており、この冬眠期間中ツツクリ腰をすえて研究、来年二月ごろまでに新しい形を整えたいとの意向でいる。

みんな一生懸命に 小、中学校の合同音楽会

市教委、北教組小樽支部主催の第八回小、中学校合同音楽会は四日午後一時半から小屋体で開かれた。参加校は小学校十七、中学校で、合唱、斉唱、木琴やソリの独奏、器楽合奏などに精

週間の話題

○…東洋一の規模を誇った祝津の水族館は博覧会期間中約八十万人の入場者を迎え、小樽会場を成功にみちびいた因をつけたが、九月末で閉館、多くの人々に親しまれた魚類もそのほとんどが「自由世界」の日本海に放され、あるいは室蘭の道立水族館に移されるなど、広い館内には愛敬をふりまいたタコ、ドンランなフカの姿もなく、半歳余にわたる冬眠に入った。ところで肝心の水族館の経営主体がハッキリしないため、ゆうゆう自適と参らぬどころにこんな問題が残されており、水族館建設に力をつづいた市、商工会議所、一般の寄付者の間での賢明な方策がのそまれている。

○…そこで、考えられ

るのは市の直営事業として、より教育的、より文化的に経営するか、民間委託事業として、より観光的とするかにわかれるわけだが、年間の経営費が五百万円にもなる事業だけに、第一の運営会議になっては一の心配もあって、経営形態を決定

市営か民間委託か 注目される水族館経営

○…しかし、市理事者の基本的な考え方として、は、水族館経営が単に水族館の入場者がら料金徴収すれば経営が成立するという甘い考え方を棄て、水族館と有機的なつながりがあるものとの関係業者、交通業者、軽飲食店業

○…一方、民間委託に反対の立場をとる市

は不適当なのではないかという懸念をうっている。



クイザル一匹を市役
ルはビルマ、マラヤ、
フィリピンなどのジ
教十、数百の群をな
カニを好んで食べる
があるが、こんど小
は三歳の雄で、一昨
からはるばる来日し

に属するだけあって
十珍なのに、シッポ
五珍もある。

これに「山本太郎」
つけ、かわいがって
町にはこれを十分
く施設がなく、それ
いろいろと援助して
の子どもたちへの格
も考え、市に持参し
、これで花園公園内
園にはうす黒い顔を
い人気者がまた一匹

といっしょに小樽市
たカニクイザルと山

水幕開く

市長と文学講演会

シッポを切って盆口

田宮虎彦、小林多喜二などの人
間や作品について講演した。五
日も同会館で午後一時から開か
れる。

小樽商大の 小樽商大大学
外語劇大会 祭のメイン・

イベントである外語劇大会が四、
五の両日いずれも午前十時から同
大学の新講堂で開かれている。

英語、スペイン語、ロシア語、
中国語、ドイツ語の五カ国語の
劇大会で、一般観衆にはチンプ
ンカンブン、何をしゃべってい
るのかわからないものばかり。
しかし出演者たちは、日ごろ学
習した語学の力を十二分に発揮
して熱演していた。
ロシア語劇「どん底」の一場面




坑内係員募集

甲種坑内保安係員、若干名
一、勤務先 三笠市幾春別
一、社七設備有り優遇す
一、履歴書送付選考の上通判す
札幌市北1西3 別子建設(株)
住友ビル③二五 北海道支店

社員募集

短大卒以上30歳迄
健康明朗なる男子
一、広告業務(企画及セールス)に興味
ある方勤務地札幌本社及旭川支局
履歴書筆記具携行面接6日前10時
新聞ラジオ株式 協同広告社
TV各宣伝 会社
札幌市南1西6南向T③3961



肺

ロクマク 心臓胃腸

栄養の王
真正 赤ママシの粉末

一ヶ月分 500円
送料 500円

札幌市南1西6南向T③3961

元祖 まむしや
電話 三六二〇番

職員採用

・ビル八階建明春四月着工決定、
採用人員 男女若干名(30歳以上)
業務内容 販売・集金・保全事務
給与 内勤に準じた給与支給
面接日 10月6日午前10時
自筆履歴書持参
札幌市南大通西五丁目角
千代田生命月払支社

急募

ダンプロトラック運転手5名及
上乗若干名 高給優遇委細面
美幌市西一南四 大井砂利
電話 五六〇番

求

カーテン室内装飾経験外交員
数名 札幌市北一東十一 ②4050
富士装飾株式会社札幌営業所

二年間の白バイの活躍

白いヘルメットに防じんメガネ、茶の皮手袋に黒の長ぐつ、右腕に腕章と腰にはピストルをつけ、白いマフラーを風になびかせてきょうも違反者に目を光らせながらさっそうと行く白バイの群、この白バイが小樽署に配置になってからこととして満三年になった。以下は三年間の白バイの活躍ぶり。

三十年十月十一日に発足のときは二台だった白バイもその後の相つぐ交通違反の激増でことしの四月に一台ふやし、さらに九月にも一台ふやしていまでは四台が雨の日も風の日も違反者を

出動する白バイ



追って市内をパトロールしている。この間の延べ出動回数は千六百九十二回、延べ出動時間は六千四百三十八時間、九万四千二百八十八キ走り、四千九百十三回のガソリンを使っている。九州の鹿児島まで二千五百九十キマなので三年間に小樽一鹿児島間を十八往復していることになる。

検挙は五千五百三十六件で説諭は四万七千六百二十三件となっており、検挙者のうちの五割に当る二千七百四十六件が速度違反となっている。検挙のおもな内訳はつぎのとおり。

①速度違反二千七百四十六

- ②駐車、停車違反五百八十六
- ③無免許運転四百九十八
- ④道路運送法違反四百九十二
- ⑤乗車積載違反二百九十
- ⑥免許証不携帯百七十三
- ⑦併進追越し違反百五十四
- ⑧構造装置欠陥百十九
- ⑨信号など無視九十六
- ⑩道路運送車両法違反七十三

大潮展の申込先 第二十二回大潮展は十二月十日から二十

六日まで東京都で開かれるが、小樽での出品目録用紙申込先は市内坂本町七氏家と夫氏まで。

なお出品資格は美術教育家と中学生以下の学生。

イダ天増田敗れる

雨にたたられた五千メートル

【富山臨時支局発】富山県営競技場での国体陸上競技第四日の二十二日、小樽からは増田亮一選手(北照)が高校五千メートルに出場したが、勝運なく落選した。

この日正午から雨となり増田選手の手は五千メートルがはじまるころトラックは全コース水びたし、かわいそうに、まるで水泳みたいなものだ、の音が聞かれるほど。

ゼッケン一番をつけた増田選手は十七人走った予選二組では一番悲しい。しかし高校駅伝の雄である同選手は三千五百メートルまで、札幌国道コースでみせたイダ天をみせせ上位グループにあつて、ロンコの力走をみせたが、四千メートルあたりからスピードが落ち、ついに選にもれてしまった。

「イヤーひどかったです。水びたしなのでケリの応えがなくなりました。調子は悪くなかったんですが、全道高校駅伝のあと試験もあつて練習ができませんでした」

そして「ボクは雨が苦手なんです」と小さい声、草駄天増田雨に敗れるのレースだった。

画壇を常にリード

旧友の招きで近く上京の三浦画伯



三浦画伯
治画伯
(大正) 入船町
八ノ三

一が青年時代からの旧友の招きで二十七日の上京、約一ヶ月間東京に滞在するようになった。三浦画伯は大正初期から絵筆をとり、大地社を結成するなど、小樽市内外の画家グループのリーダーとして、道展など数々の展覧会に出品した画師でもあり、いまも『三浦画伯』が出版し、道展の小樽画壇の中心人物として知られている。

三浦画伯は、三浦画伯の招きで、二十七日の上京、約一ヶ月間東京に滞在するようになった。三浦画伯は大正初期から絵筆をとり、大地社を結成するなど、小樽市内外の画家グループのリーダーとして、道展など数々の展覧会に出品した画師でもあり、いまも『三浦画伯』が出版し、道展の小樽画壇の中心人物として知られている。

招きを見送ってきたが、十五日から東京上野の国立博物館で開かれている「ゴッホ展」を観たという希望もあつてようやくこの呼びかけに応ずることになったもの。三浦画伯は「偏屈な私は中央画壇に眼もくれず、地方画壇の充実を一生の念願として進んできたが、それも満足なことができずに過している私をはずかしく思っている。こんな古い友人が気を使ってくれ、上京することになったが、みんなと昔を語り合い、そしてかねて念願だったゴッホの絵を学ぶことが出来るのを非常に楽しみにしている」と友誼を感謝しながらの喜びを語っている。

高橋男子五千
第一コーナー
を力走するゼ
ッケン一番の

長か自民党
なつて以来
不足をなげ

市長候補の陣内重雄氏

検査

て保健所
の製品を集
全部合格

たくあんづ
せんまい
れも黄四
、オーテ
使われてい

市民がつけ
は必ず食品
たものを買

で陣内氏を内定したものだ。

にし、種々は総検査として結
論を出さなかつた。

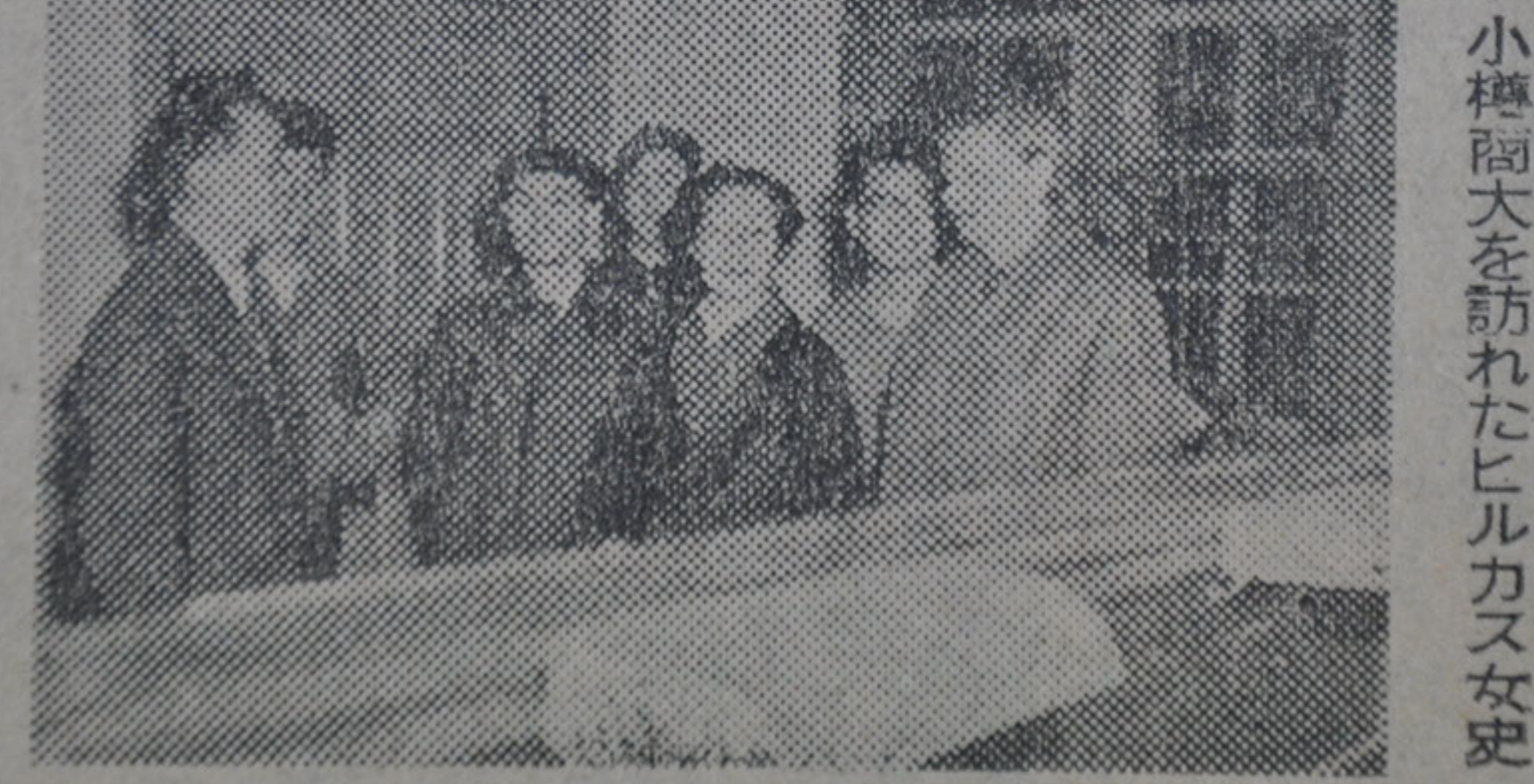
多喜二ゆかりの場所を訪ね

ブラスタ・ヒルカス女史が来樽

チェコスロバキア、プラハ大学教
授ブラスタ・ヒルカス女史が二十
二日来樽、市内新光町に住んでい
る小林多喜二の母親セキさん(八六)

のいろいろのところを見まし
た。小林多喜二とプロレタリア
について論文を書きます”と語
っていた。

を訪ねて歓談したあと小樽商大、
北海製罐など多喜二ゆかりの場
所をたずねた。ヒルカスさんはプ
ラハ大学の日本文学主任教授で万
葉集、谷崎潤一郎、徳永直、小林
多喜二らの作品を訳しているが、
来日を機会に小林多喜二の住んで
いた小樽へやってきたもので母親
セキさんに会ったあと姉の佐藤チ
マさん(五八)の案内で多喜二の墓に
参り、多喜二が学んだ小樽商大を
訪れ松尾教授、学生らから説明を
聞き、さらに“工場細胞”に出て
くる北海製罐を見学した。



ヒルカス女史は日本語で“小樽

アセチレン溶接士、

映写技術者の試験

小樽労働基署はことしのアセチレン

四日午前十一時から同所で差押え
の電話加入権三本、不動産二件を
一般入札で公売する。